

大学とともに組合員の生活をよりよく

神戸薬科大学学生協は大学と協力してさまざまな取り組みをおこない、組合員の大半である学生の生活をよりよくしてきました。

活動概要

- 大学が行った「学生生活実態調査」のうち大学生活に関する部分を引用し、その学生の声を理事会で開示
- 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、食堂の営業再開に向けて大学と協力して取り組んだ



POINT.1

大学とともに組合員の声に耳を傾ける

神戸薬科大学学生協ではひとことカードとは別に、大学が行った「学生生活実態調査」のうち「大学生活」に関するものを抜粋し、分析したうえで回答をおこなっています。そしてその学生の声を理事会で開示し、議論していくことを検討していました。

コロナ禍の現状で、組合員の声をあまり取り組みに反映しづらい状況ではありますが、「従来設置していたアイスクリームの自販機を復活してほしい」との声から、大学近くにはほとんどお店がないこともあり、再びアイスクリームの自販機を設置しました。このことにより組合員は生協店舗が開いていない日、開いていない時間でもアイスクリームを購入できるようになりました。



POINT.2

大学とともに組合員が安心して使える食堂へ

後期からの食堂営業再開に向けて、兵庫県や事業連合のガイドラインをもとに大学と連携して感染対策をおこないました。具体的には、階段から食堂までの導線を決めてパーテーションで仕切り、一方通行にしました。さらに、間隔をあけることのできるように足跡をつけ、席には仕切りを付けています。そして、除菌シートを大学の施設課に準備してもらい設置しています。このように大学と連携しておこない、利用する組合員が安心して利用できるよう取り組んでいます。



[機関運営]



神戸薬科大学学生協
大学との協力での取り組み

